

第3回（平成25年度第2回）瑞穂市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 開催場所 瑞穂市役所第南庁舎 大会議室
2. 開催日時 平成25年9月25日（水） 午後1時30分～午後3時30分
3. 出席委員 平田芳子（会長）、野田寧宏（副会長）、関谷翠、長尾マツ子、吉田愛子、江間安男、眞鍋敏克、廣江重昭、清水一夫、恩田直樹 計 10名
4. 欠席委員 松波説夫、片岡義典 2名 （敬称略・順不同）
5. 事務局 鹿野政和（環境水道部 部長）、伊藤巧（環境課 課長）、佐藤彰道（環境課 総括課長補佐）
6. その他出席者 一般廃棄物処理基本計画策定業務受託コンサルタント（一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター） 蒲池謙治、豊田崇文
7. 傍聴者数 0名
8. 議題等
  - (1) 会長あいさつ
  - (2) 審議
    - ① 市民アンケート調査結果報告
    - ② ごみ処理状況の評価及び排出量の将来予測
    - ③ 新計画期間の取り組みについて
    - ④ 近隣市町の状況
    - ⑤ その他

9. 会議の要旨

平田会長	会長あいさつ。 審議次第 ① 市民アンケート調査結果について、事務局に説明を求める。
事務局	審議次第 ① について説明を行う。
平田会長	アンケートについて質問を求める。
野田副会長	5月21日の岐阜新聞に載っていた、ごみ削減のアイデアをアンケートの中に入れて募集すればよかったと思った。粗大ごみの袋を回収してほしいということだが自治会によって違う。本田団地と、牛牧団地は高齢者が増えて車で持って行けないから自治会長が美来の森まで持って行っている。今後高齢者対策が必要になる。市の助けもどうやっていくのか検討してほしい。

平田会長	アンケートの中にも高齢者の問題があげられていました。
関谷委員	高齢者が生活していくにはどうしたらよいか？
平田会長	事務局で袋の回収制度はありますか。
事務局鹿野	戸別回収の制度があります。
平田会長	戸別回収のPRが行き届いていないですね。
関谷委員	自治会でも聞いていないところが多いと思います。
平田会長	戸別回収の値段は持ち込みの倍の値段になる。
事務局伊藤	金曜日にお電話をいただき、火曜日に回収します。料金は持ち込みの倍額になります。
平田会長	アンケートの中でも家の中から粗大ごみを運んでもらえないかという意見もありましたね。
野田副会長	ごみステーションに出してそのまま持って行ってほしいという要望が多いです。金額は安い、高いには関わらず、戸別回収にも問題がある。
平田会長	そのところは事務局で今後どうしていくのかで意見をお願いします。
野田副会長	放置されている傘がいたるところで見かける。駅の近くの民家の前に捨てられている。今後どうするのか。
江間委員	それは不法投棄されている。
平田会長	前は市に連絡してもらえれば回収してもらえると回答でした。
事務局鹿野	アイデアを募集したらということでしたが、アンケートは終わってしまったのですが、基本計画の見直しでパブリックコメントをするのでそこに付け加えられれば、パブリックコメントの中で聞いていきたい。
平田会長	単純に計画のパブリックコメントを求めるのではなかなかアクセスしてもらえないが減量のアイデアも求めますとセットでやればもっとアクセスが増えると思うのでいいと思う。もしくはごみ減量週間などを作って啓発の機会をもうけるのもひとつのアイデアである。
眞鍋委員	アンケートの仕方が以前と同じなのか？設問の仕方によって回答が変わってくると思うが。
事務局佐藤	前回と同じ聞き方をしています。
眞鍋委員	アイデアの件ですが、巢南でフェスタがある。一人のごみ処理費用はいくらくらいですかとクイズ形式で賞品を出せば答えてくれる。処理費用がわかってもらえる。

平田会長	フェスタを利用して啓発をする。
眞鍋委員	輪之内町や安八町の処理費用が結構安いのはなぜか。
平田会長	同じ西濃環境を使っているなかで。
豊田（コンサルタント）	環境省のデータを引用しているので、安い要因は不明です。
平田会長	一度調べてもらおうと良い。
江間委員	アンケートの有効回答率が45%は残念だと思う。アンケートの出し方の工夫も必要である。びん・缶回収については夏場にアンケートをしたのが要因ではないか。住民はこまめに回収をしてもらいたいと思う。巢南と穂積の統一は早急にやってほしい。ごみの袋の大きさが中途半端、大小あってもよいのでは。高齢者はごみの出す量も少ないはずだがどこまでサービスするかということも考えてもらいたい。
平田会長	粗大ごみ有料化前の審議会を持ち込む人と取りに来てもらう人の料金を、取りに来て貰う人の料金が定価で、持ち込む場合は半額と決めた。高齢者の方は出したくても出せない人が多いので福祉的な立場からサービスする。巢南方式と穂積方式の回収の説明を求める。
事務局佐藤	分別区分の相違は、資料5-2に記載してあるように、巢南地区は月1回の陶磁器ガラスがない、穂積地区は月2回の容器包装プラスチックがない、の2つです。
平田会長	前回の計画の時に統一しようとなったが、まだその部分が統一できていない。
事務局鹿野	粗大ごみの有料化を先に実施したため、一度にやると混乱を招くという理由から、粗大ごみ有料化を優先したという経緯があります。やるべきことだと認識を持っています。今回の見直しでさらに統一するという方向にもっていきたいと思っている。
平田会長	アンケートでも巢南方式、穂積方式があるのはおかしいと意見が多く出ている。なるべく統一して皆さんに便利なようにしていきたいということですね。
事務局	ごみの分別手引きについて説明を行う。
事務局鹿野	プラスチック製容器包装は、穂積地区では燃えるごみに出して資源として分別していないということです。
事務局佐藤	他自治体から転入された人から、何故資源になるのに燃やすのかという意見が多くあり、地区のステーションには出せないが美来の森で回収を開始し、受け入れをしているのが現状です。

	しかし、これは統一にはならないので今後穂積地区でも地区のステーションで集められるようにするのが理想であると考えています。
平田会長	委託業者が穂積地区と巢南地区で違うが、業者さんは変更の問題ないのか。
恩田委員	問題ないです。
清水委員	問題ないです。
平田会長	こだわりはないですね。
江間委員	分別しても一緒に積み込まれることがある。
野田副会長	トレイはトミダヤが引き取ってくれるので、回収日にはほとんど出ていない。
事務局佐藤	巢南地区は、トレイを容器包装プラスチックとして出せるので地区ステーションに出されています。
野田副会長	穂積地区はトミダヤさんが引き取ってくれる。
江間委員	可燃ごみにトレイが出ている。分別を市の決めた以上にきちんと分けていても一緒に持って行く。
吉田委員	昔はびんを色別に分けてあるのに一緒に積んで持っていったが、今は色別に分別していないと持っていかない。
恩田委員	<p>瑞穂市の分は3種類で収集していますが、事業系のものはすべて一緒に集めています。その辺を勘違いされ、一緒になっていると思われる。</p> <p>市の収集は、3台で回っているが、事業系は1台で回っている。ただ、出す時間が遅くて、収集済みの違う色が混ざっていると苦情が入るので残せないため、色が違っても一緒に持って行くことがある。</p>
平田会長	収集業者さんは色別に車を分けているとのことですので、色の分別を徹底しなければいけませんね。スーパーでトレイを集めてもらえるが、アンケートでいっぱいになって入れられないという意見もでていましたが。
廣江委員	溜まったらバックヤードに持って行くのですが、極力努力します。トレイは月に100kgほど出る。ペットボトルも夏場は100kg超。他に多いのは牛乳パック。
平田会長	スーパーに持って行くよりも、他で集めてほしいという意見も出ている。巢南地区はトレイもステーションで集めている。そのところが巢南方式と穂積方式の違いということですね。巢南地区は、陶磁器とかガラスはステーションで集めていないですね。

清水委員	ステーションでは集めていません。拠点と巣南集積場です。
野田副会長	スーパーの資源ごみの回収は市のリサイクル率にカウントされないのか。市のリサイクル率にカウントされればスーパーさんもやりがいがある。他の市町村はどうか。
豊田（コンサルタント）	一般的にスーパーさん等事業者さんが自主的に店頭回収で集められる資源の量は、市町村が把握できないごみの量として取り扱われます。このため、事業者さんから報告がなければ市の把握できるごみにカウントされません。どこも一緒です。むしろ、トレイなどは商品を売った方の努力、企業の社会的な責任の一環として集めていただいています。市町村さんも白色トレイについては容器包装プラスチックに出さないでスーパーさんに出してくださいと言われるところも多くでてきている。自治体だけで集める時代から市民や事業者が協力して集めていくという時代が変わってきています。
平田会長	自治体だけに押し付けるのではなく、事業者、住民、自治体三者が協力して取り組むということで、事業者が先頭に立ってやってもらっている。
長尾委員	粗大ごみのシールがわかりにくいので何かで載せてもらいたいという願いがあった。小型であるとわかりにくい。
平田会長	アンケートでももう少し説明がほしいという意見があった。次回の計画の中に盛り込んでいくといいと思う。
清水委員	会社でも以前は燃えるごみとその他の2区分で収集していたが、今は資源となるものの回収が仕事の中でもかなりウエイト占めてきた。会社の方も設備は整えてやっているが、リサイクルはさらに住民さんの協力がないとできないと思う。仕事の中でお叱りをうけることが多いが、アンケートの中ではお叱りがなかったのではとしています。
平田会長	他に質問、意見等を求める。
眞鍋委員	ごみ問題に関心がある人が93%なのに回答率40%台でギャップがある。アンケートの仕方に問題があるのか、よく考えてみないといけない。
江間委員	アンケートを回答したのは関心がある人だから当然。
平田会長	審議次第 ② 「ごみ処理状況の評価および排出量の将来予測について」説明を求める。
事務局	審議次第 ② について、説明を行う。
平田会長	続けて審議次第 ③ ～ ⑤ の説明を求める。
事務局	審議次第 ③ ～ ⑤ について、説明を行う。

平田会長	収集の地区ローテーションは実施前に決めれば良いので、基本的な内容のみの審議で。
事務局佐藤	変更後の収集頻度は可燃ごみを週2回、ビン月1回、缶、ペットボトル、容器包装プラスチックは月2回となります。 県内市町村の状況を見ると、ほぼすべての市町村が可燃ごみの収集回数は週2回になっています。
眞鍋委員	金属の物ならなんでもただで持っていき、無料回収業者に持って行ってもらうてはいけないのか。
事務局鹿野	無料回収業者のことですが、行政側としては逆の立場にあって、不法投棄や法律に抵触するおそれがあり、それを助長させることになる。ごみが少なくなるからといって、無料回収業者を勧めることは出来ない。
平田会長	美来の森が中途半端で、エコステーションとしての機能がまだ十分整っていないということで、前の時も意見が出ていたが、今回アンケートでも利用しやすいようにという意見も出ていて美来の森もエコステーションとして持ち込み易いように施設整備を要望するということもこの審議会として必要でないか。
関谷委員	美来の森はどのくらい機能して、なにが足りないのか？
平田会長	今は粗大ごみの持込と14時から16時にプラスチックとか古紙、ダンボールとか持ち込みです。意見としては時間を増やしてほしい、使い勝手がいいようにしてほしいなど。
野田副会長	エコステーションの充実に伴い、リサイクル率も上がってくると思う。他の市町村は考えてやっていると思う。
江間委員	たしかにそれは言える。それには住民の意識としてきちんと分別して美来の森に持って行くことを徹底しないといけない。
平田会長	今は若い人が多くきちんと分別してみえる。年配の方は近くのステーションが便利、若い方に対応できるエコステーションの整備、高齢者、地域密着で使い勝手を良くしたいという方対象のステーションの充実と分けて第2次計画は進めていくといい。事業者さんも協力してもらおうということも入れて。
事務局鹿野	前回の計画ではリサイクル施設として、機械を入れて破砕するような大きな施設にする話になったが5年たち、市民の皆さんがエコステーションのような分別したものを置けるような施設にすることは重要だと思う。
平田会長	日進市や他の市でもエコステーションとして市民がいつでも持ち込めるようなそういうことを都市部はやっている。

事務局佐藤	計画案で分別区分と収集回数を変更するという案を出していますが、前提として全自治会を回って説明しないといけないと思っています。
平田会長	この計画は「リサイクルする意識を徹底する」をキャッチフレーズで。
江間委員	そのとおりですね。
平田会長	閉会を宣する。
事務局	今回は 11 月頃に開催します。